

議 事 録

会 議 名	令和6年第1回新城警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	<p>令和6年2月28日（水） 午後1時20分から午後3時40分までの間</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>新城警察署講堂</p>
出 席 者	<p>1 委員 原田 真弓 会長 松下 愛三 委員 山口 貴司 委員 河合 惠元 委員 鈴木 孝浩 委員 羽田 百花 委員 カルバリ ソウザ マスコ アドリアナ 委員</p> <p style="text-align: right;">以上7名（定数8名）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 警察署員 藤森 署長 丸田 副署長 三並 警務課長 源馬 会計課長 守田 生活安全課長 市川 地域課長 石原 刑事課長 大脇 交通課長 石崎 警備課長</p> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>3 有識者等 なし</p>
諮 問 事 項 等	特殊詐欺をはじめとする重点犯罪に対する防犯意識の向上方策
答 申 等 の 概 要	子供や若者の柔軟な発想に基づいたキャンペーン等、広報啓発活動の実施
そ の 他	次回、開催予定は令和6年5月頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状の伝達
	新委員4名に委嘱状を交付した。
2	会長、副会長の選出
	委員の互選により原田委員を会長に選出し、会長は、小長井委員を副会長に指名した。
3	会長、委員自己紹介
4	署長挨拶
5	幹部紹介
6	各種報告
	(1) 犯罪発生状況（生活安全課長説明）
	(2) 交通事故発生状況（交通課長説明）
	(3) 速度取締指針（交通課長説明）
7	前回の答申に対する推進状況
	(1) 諮問事項
	新城警察署山岳救助隊の活動について
	(2) 答申
	山岳遭難防止に関する効果的な広報啓発活動の実施
	(3) 答申に対する取組結果等
	ア 広報活動の実施
	(ア) 各種イベント開催時における広報
	管内で開催された各種イベント会場において、山岳救助隊の活動状況や山岳事故防止に関する広報活動を実施した。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(イ) 山岳パトロール活動時における広報活動	
登山道でのパトロール時に山岳事故防止に関するチラシ等の配付と	
登山届の提出と日没前の余裕を持った下山を呼び掛けた。	
(ロ) 山岳事故防止ポスターの掲示	
登山客が立ち寄る登山口周辺のコンビニエンスストアや公共施設等	
に登山届の提出等を呼び掛けるポスターを掲示した。	
イ 危険箇所対策の実施	
道迷いが原因で発生した山岳遭難事故現場において、登山道の改善等	
管理者への働きかけにより、誤進入防止のため立ち入り禁止の表示板等	
を設置した。	
ウ 山岳救助訓練の実施	
隣接する2警察署や愛知県警察航空隊と合同で遭難者の捜索や搬送等	
の救助訓練を実施して、連携の強化と救助技術・知識の向上を図った。	
8 諮問	
(1) 諮問事項	
特殊詐欺をはじめとする重点犯罪に対する防犯意識の向上方策	
(2) 諮問事項の設定理由	
昨年中、新城管内の刑法犯認知件数は、119件（前年対比マイナス30件）	
と減少したが、特殊詐欺や侵入盗といった重点犯罪の被害は多発しており	
今後、さらなる増加も懸念される。そこで、「特殊詐欺の手口、対策の周	
知」「防犯カメラの普及」「鍵掛け習慣の定着化」を推進する必要がある、	
それらを達成させるためには、市民一人一人の防犯意識の向上が求められ	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
ることから、委員の皆様からの御意見を伺いたく諮問事項とした。	
9 諮問事項に対する意見	
委員	・ 特殊詐欺被害に遭う方は高齢で独居の方が多いと聞いた。犯人と話をしないことが一番である。知らない人や電話番号からの電話は出ないことを徹底することが大切だ。
委員	・ 知らない電話番号の確認は、ナンバー表示機能付電話機がないとできない。新城市からの補助金予算にも限度があると思うが、市民への情報発信が重要である。防犯用品を紹介して利用者を増やすことも効果があるのではないか。
委員	・ 運転免許証の返納と同様に、固定の電話機を廃止するのが早いですが、全ての人が携帯電話を持っている訳ではないので、被害防止機能付き電話機の普及と広報が重要だと思う。
委員	・ 市の助成・補助金があることや警察が様々な活動をしていることを市民は余り知らないと思うので、もっとアピールしたらどうか。
委員	・ 特殊詐欺被害に遭うのは高齢者が多いと説明を受けたが、被害者が自分事と捉えていないからではないか。実際にあった犯罪の手口について、実演して周知徹底することが効果的だと思う。
委員	・ 銀行のATMを利用した振り込み詐欺に遭う方は、還付金詐欺やロマンス詐欺などで犯人の言うことを信用して、家族や銀行員の注意喚起にも耳を傾けない。被害防止のための具体的な犯罪手口の広報が重要だと思う。
委員	・ 市役所等のロビーなど人が集まる場所で被害防止のためのビデオ
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
放映やポスター・チラシの掲示や配付をしたら良いと思う。	
委員	・ 車上ねらいや自転車盗被害のほとんどが無施錠ということなので自動車運転者等の施錠意識を高めないと被害は減らない。まずは家でも乗り物でも、鍵かけ促進キャンペーンなどを実施してはどうか。
委員	・ 盗難被害に遭ったことのない人は、鍵をかける習慣がないと思うので、まずは自宅の鍵を掛けるよう広報することが大切だと思う。
委員	・ 防犯の基本である鍵掛けの励行と防犯グッズの紹介、ポスターやチラシなどで防犯意識を高めることが大切だと思う。
委員	・ 外国籍の人は、交通安全のルールについても正しく理解できずに交通違反をしたりしてトラブルとなることが多い。交通安全教室と同様に外国籍の人でも理解できるように、防犯教室を開催することも大切だと思う。
委員	・ 何度でも繰り返し広報して市民に防犯への意識をすり込むことが重要だと思う。
委員	・ 広報の方法にも更なる工夫が大切だと思う。防災無線等の広報も、大人の声で呼び掛けるよりも子供や若者の声で呼び掛ける方が新鮮に感じて耳を傾けるのではないか。
委員	・ 高校生等とコラボした活動について説明を受けたがとても良いことだと感じた。小学生や高校生等なら新しい発想力があるかもしれないので意見を求めたらどうか。
委員	・ テレビのニュース等では、犯罪発生場面を防犯カメラで捉えた映像が流され、犯人の検挙に結びつくと放映されている。犯罪を起
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
こせば防犯カメラにより必ず捕まることなどの注意喚起が効果的だ と思う。	
委員	・ 各地区の組長会議での防犯講話や回覧板等を活用したチラシの配 布などは、防犯意識を高められるのではないか。
委員	・ 個人の防犯意識を高めることが最も重要だと思う。その他にも 防犯カメラの設置促進や鍵かけの徹底など二次的な防止方策の周知 徹底が重要だ。
10 答申	
子供や若者の柔軟な発想に基づいたキャンペーン等、広報啓発活動の実施	
11 その他	
次回、開催予定は令和6年5月中旬とした。	
記録者	警務係長